

目的／構成

本設計は、衰退が進んでいる土佐山田町の商店街及び、駅空間の活性化を景観デザインの観点からアプローチしたものである。

商店街の活性化を目指すために、商工会はシャッター美術館や、イベントの開催、商店街に音楽を流すなどの活動を、自治体は土地地区画整理事業や市街地総合再生計画事業等を計画を行っているが、商店街の衰退の歯止めとはなっていない。そこで、商店街及び駅空間を活性化へとつながるように設計の提案を行う。

本修士設計は 10 の章で構成されている。

第一章では、目的について述べている。第二章では、商店街及び駅空間の現況を調査し、第三章では土佐山田中心市街地の歴史について述べている。第四章では上位計画・関連計画をまとめている。第五章では、現状の課題についてまとめ第六章では、設計を行うにあたっての基本方針をまとめている。第七章では、それらの基本方針に基づき設計を行ない、第八章では、その設計を実施する場合の費用の積算を行い、最終章でまとめている。

設計範囲の現況

土佐山田商店街には古い建物（土佐漆喰や水切り瓦などが利用されている建物）、道路わきを通る水路、昔利用していた井戸などがある。また、他にも核となる場所が存在している。しかし、それらは、看板建築などによって隠されてしまい、まちの歴史というものを粗雑に扱っている。

また、市街地の中心にあり、土佐山田町の顔ともなる土佐山田駅・駅前広場は交通機能の役割しか果たしておらず、人々の交流や賑わいの空間となっていない。



昔ながらの古い建物



公儀の井戸

歴史

土佐山田の中心市街地の町並みは、上井川と中井川に挟まれた地域から秦山町付近の新町に移され、さらに東西の交通の便を考えて、現在の中心市街地へと移ってきたと考えられている。

上井川より水を引くための水路が完成することにより、まず西町周辺に定住する人が増えていった。水を引くことの出来ない中町、東町には大井戸を掘ることにより定住する者が増えていき、現在の町並みを形成していった。

上位計画・関連計画

関連計画と下記のもの計画されている。

- 緑の田園都市構想
- 多自然・定住文化都市構想
- なんごく・こうち地方拠点都市地域・基本計画
- 第1次高知中央域ふるさと市町村圏計画
- 土佐山田町農業振興地域整備計画書
- 土佐山田町地域防災計画
- 土佐山田駅北地区土地地区画整理事業
- 土佐山田駅南地区市街地総合再生計画事業

課題の整理

現況の課題として駅前広場に交通機能しかない「玄関口としての装いの不足」、商店の看板や電柱等によって景観を損ねている「駅前通りとしての景観」、長時間の滞留できる場所がないという「拠点施設の欠如」、商店街の魅力を低下する「空き店舗等の存在」、歩行者の回遊性が低い「歩道の未整備」などがある。

デザインの基本方針

土佐山田町の歴史や、都市計画等の関連計画、現況の課題をふまえて、デザインの基本方針を下記のように設定する。

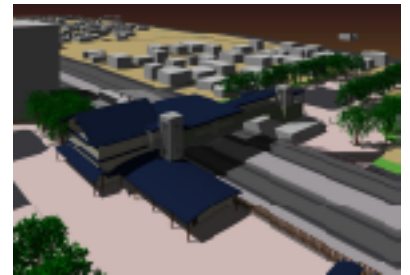
- (1) 景観魅力の再生・創造：伝統や地域文化の感じられる個性的な街となるようにする
- (2) 交通環境の整備：長時間、買い物客が滞留・回遊するような歩行空間の整備を行う
- (3) ゲートエリアとしての整備：駅前が町或いは中心地区の魅力ある玄関口となるよう、気品のある都市イメージ豊かな「顔づくり」を行う。



駅前通り、駅前広場平面図（1:2,000）

駅舎

駅には北口も設け橋上駅とする。駅南口は、土佐山田の玄関となるようなデザインにし、北口は、主な利用客は住民なので、機能を重視した駅舎になるようデザインを行った。駅舎内からは外の雰囲気が伝わるようにしてある。



駅舎鳥瞰図（南東より）



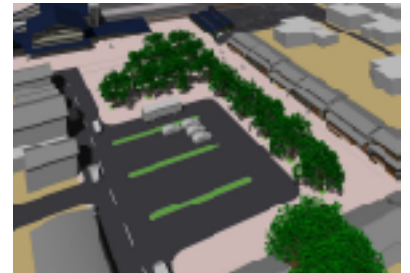
駅舎鳥瞰図（北西より）



駅舎より南広場を望む

駅前広場

駅前広場には、オープンスペースを広くとる事により、日曜市や山田祭り等といったイベントが行えるようにした。また、広場に面する建物も昔ながらの建物建てることにより、商店街との一体感を持たせている。



南駅前広場鳥瞰図



南駅前広場での日曜市



南駅前広場での山田祭

駅前通り

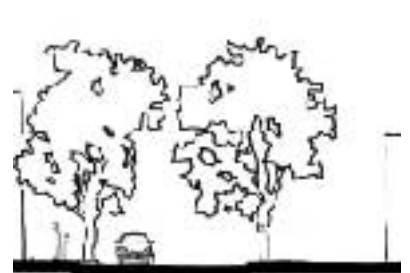
駅前通りは、歩道の幅員を拡張することによって、歩行者空間の充実を図る。また、植樹帯と停車帯を交互に設ける。植樹帯には街路樹を植え、駅前通りが土佐山田のシンボルロードとしての役割を担えるようにする。



南駅前通りを南端より望む



南駅前通りを歩道から望む



南駅前通断面図

商店街

土佐山田の商店街には、看板建築が多く残っており、その看板建築を取り除く事により古い町並みを再生する。また、存在が希薄となっている水路の再生、電線の地中化、空き地等をポケットパークとして整備等を行う事によって、人々が快適に過ごせるようにする。



商店街改修後断面パース



商店街改修イメージ図



商店街改修後平面図



商店街立面図

積算

駅舎	1,800,000千円
南駅前広場 (土地、舗装、樹木、照明、電線地下埋設)	795,659千円
駅前通り (舗装、樹木、照明、電線地下埋設)	128,422千円
北駅前広場 (土地、舗装、樹木、照明、電線地下埋設)	616,228千円
商店街 (看板建築の補修、水路、舗装、照明、電線地下埋設)	1,241,000千円
合計	4,581,310千円

事業費の獲得方法

事業費の獲得方法として、様々な活動を行うことにより、町外から人々を呼び込む。そのためのソフトの提案を行う。提案の幾つかを下記に挙げる。

例) 広場を利用したの屋台村、映画ロケの誘致、サマーナイトイベントの開催、夏に風鈴等による演出、ミステリーイベントの開催、商店街でのコンクール開催等

まとめ

今回の設計では駅舎、南北駅前広場、駅前通り商店街を行った。しかし、周辺にも古い建物や拠点となる地点がある。それらを同様に整備を行うことによって、さらにより良いモノになると思われる。